Radio Controlled Clock

電波時計 取扱説明書

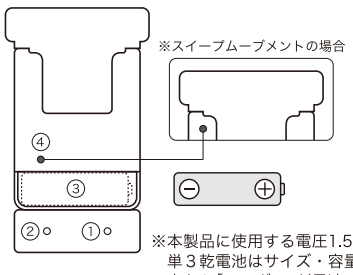
●お買い上げありがとうございました。
●ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。
●この製品は日本国内用ですので、海外での使用には適しておりません。ご了承ください。
●この取扱説明書は必ず保管してください。

製造・販売元 Lemnos 株式会社タカタレムノス www.lemnos.jp / info@lemnos.jp
本社：〒933-0957 富山県高岡市早川511 TEL：0766-24-5731 FAX：0766-22-8071
東京：〒152-0035 東京都目黒区自由が丘1-15-17 ピラ自由が丘201 TEL：03-5701-8461 FAX：03-5701-8481

説明書番号 64038

各部の名称

本体裏面 ムーブメント図



※本製品に使用する電圧1.5V 単３乾電池はサイズ・容量の点から「マンガン」が最適です。

① M.SETボタン
手動設定をするときに使用するボタンです。

② RECボタン
強制受信をするためのボタンです。

③ 電池ホルダー
電池は電池ホルダー内の⊕⊖表示の向きに合わせてください。

④ リセットボタン
リセット操作をするためのボタンです。

製品仕様

■精度：平均月差 ±30 秒以内（常温での使用時）
（電波時計による時刻修正を行わない場合）
■表示精度：±1 秒以内（電波受信による時刻修正の直後）
■使用温度範囲：0℃～+40℃
■使用電池：1.5V 単 3 乾電池 1 本（マンガン）
■電池寿命：約 7～9 ヶ月（受信修正機能の稼働状況によっては、電池の消耗が早まります）
※オキシライド乾電池（初期電圧の高い高性能電池）には対応しておりません。
機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないでください。
※充電式の電池は電圧が低く（1.2V）、時計には不向きですので、使用しないでください。
■受信電波：標準電波 (JJY)　周波数：40kHz/60kHz（自動選局）
■自動受信回数：最多 12 回／1日
※上記の製品仕様は、改良の為予告なく変更する場合があります。
※サマータイム導入時には、自動的に時刻を修正します。

電波時計について

電波時計とは
電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った時計です。

標準電波とは
標準電波 (JJY) は日本標準時 (JST) の時刻情報をのせており、独立行政法人の情報通信研究機構（NICT）によって運用されています。標準電波の時刻情報は「セシウム原子時計」により、およそ 10 万年に 1 秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」（40KHz）と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」（60KHz）の 2 ヵ所にあり、ほぼ日本全国をカバーしております。

標準電波の送信停止について
標準電波は、ほぼ 24 時間継続して送信されてますが、保守作業などで一時的に送信を中断することもあります。

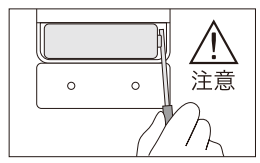
電波の受信範囲について
送信所から約 1000 ㎞離れた場所でも受信可能です。ただし受信範囲であっても電波時障害（太陽活動、気候条件、置き場所、時間帯、地形、建物など）により受信できないことがあります。

ご使用方法 ※正しく時計を起動させるために、下記の順番にご注意下さい。

① 電池を入れる

●単 3 乾電池 1 本（マンガン）を電池ホルダー内の⊕⊖表示の向きに合わせて入れます。　※⊕⊖を逆に入れると、時計は動きません。

電池を交換する時
電池の⊕側凸部の下に、小さなマイナスドライバーなどを差し込み、持ち上げて下さい。



※お手元にご注意下さい。

② 針が動き出す

●電池を入れると、電波受信状態になり針が動き出します。
●「4 時」「8 時」「12 時」のうち一番近い時間（またはその次に近い時間）の位置で針が一旦止まります。（受信待機）
※スイープ秒針タイプの停止位置は「12 時」のみになります。
※受信待機中、針が止まったままになりますが故障ではありません。
※分針の静止位置が多少前後にぶれる場合がありますが故障ではありません。

③ 電波受信の結果が出るまで、そのまま待つ（通常5～15分）

●電波を受信すると針が早回りで動き出し、正確な時刻を指します。
※受信環境によって、受信までの時間は異なります。
※受信待機中はボタン類を操作しないでください。誤作動の原因となります。

■ 電波受信の結果について

電波受信状態から 30 分以上を経過しても受信できなかった（時計がスタートしない）場合は、電波受信に失敗したものと考えられます。すぐにスタートさせたい場合は次の［④手動で時刻を合わせる］を参照してください。
※再受信をする場合は裏面の［電波を受信しなかった場合］をご参照ください。

④ 手動で時刻を合わせる

●電波受信がしづらく、時刻が修正されない場合は、M.SET ボタンを押して手動で時刻を合わせます。M.SET ボタンを約 7 秒間押し続けてください。
●時計の針（時針・分針）が早回りを始めますので、そのままボタンを押し続け、現時刻の近くまで進んだらボタンをはなします。以降はボタンを 1 回押すごとに針が 1 分ずつに進むようになります。

※手動で時刻を合わせる際の注意

●時計の針が早回りで動き出した後、約 8 秒以上何も操作をしない場合は、ボタンを 1 回押しても針は 1 分ずつ進まなくなります。やり直す場合は再度、M.SET ボタンを押し続けて、針を早回りさせてください。
●M.SET ボタンは、時針・分針のみを合わせるためのボタンです。
以上の操作を終えると、秒針も動き出します。
（電波受信の後、秒針は修正されます。）

■ リセット操作について

●操作中に不明な点が出てきた場合は、リセットボタンを押してください。
設定されている内容が初期状態に戻ります。（時分秒の全ての針が「12 時」で停止します。）

電波時計ご使用上の注意 ※次のような場所では受信できない場合があります。

電波時計はラジオと同じように電波を受信しています。
以下のような条件では電波受信が困難ですので、このような場所を避けて使用してください。

◆鉄筋、鉄骨の建物の中や地下
（ただし、窓際は比較的受信しやすくなります）
◆山、ビルなどの電波をさえぎるものの近く
◆高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
◆自動車、電車、飛行機などの中
（特に移動中は電波障害が起きやすくなります）
◆空港、交通量の多い道路の近くや、工事現場などの電波障害の起きる場所

◆テレビ、冷蔵庫、エアコン、パソコン、ファックス、電話などの家電機器や通信機器などの強い磁気が発生する所、蛍光灯などの照明器具の近く
◆金属面（床や壁）に接して設置した場合

この他に、雷や大気の状態などの天候・気象条件によって電波障害が起こるときは、受信機能が制限されて使用できない場合があります。このような場合は、深夜の時間帯や使用する場所を受信条件の良い場所に移動すれば通常の機能に戻り、自動修正機能が働くようになります。

電波を受信しなかった場合

■再度受信させる

REC ボタンを約 10 秒間押し続けてください。電池を入れた時と同じ状態になり、時計の針が早回りして「4 時」「8 時」「12 時」のいずれかの位置で停止して、再度、受信待機状態となります。

※表面の［ご使用方法 ③］に戻ります。

※スイープ秒針タイプは「12 時」の位置のみになります。

■一昼夜そのままにして様子を見る

夜間は比較的電波の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。

※初期受信ができなかった場合は、表示時刻が正時になるごとに最多 12 回まで自動で受信を始めます。

※最多 12 回の自動受信で受信ができなかった場合は、以後 24 時間に 1 回（午前 1 時）自動受信を行います。

■設置場所を変えてみる

リセット操作をした後に、電波受信をしやすい窓際などに、時計を移動させてお試しください。
（※表面の［リセット操作について］を参照）

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
必ず守ってください。

マークの説明

警告：死亡または重傷などを負う可能性が想定される

禁止：してはいけない「禁止」行為

注意：傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される内容

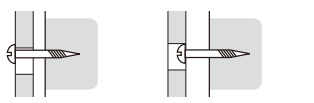
強制：必ず実行していただく内容

分解禁止：分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

時計の掛け方

掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

強制
- ●垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- ●掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に壁掛け用木ネジ（掛け具）がしっかり掛かっていることを確認してください。

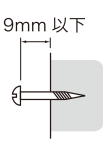


○ 引っ掛かっている　× 引っ掛かっていない

注意
- ●市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ●ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

◆木の厚い壁・木の柱に掛ける場合

付属の壁掛け用木ネジ（掛け具）をご使用ください。ネジは壁面へ垂直に、壁面からのネジの残しが 9mm 以下になるようにねじ込んでください。



◆石膏ボード・コンクリート等の壁に掛ける場合

付属の壁掛け用木ネジ（掛け具）は使用しないでください。壁の材質、構造に合った「3 kg 」まで耐えられる市販の掛け具（吊金具）をご使用ください。

誤飲による事故防止について

警告
- ●付属部品（掛け金具、ネジなど）や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万が一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池について

警告
- ●電池からもれた液が目に入った場合は、失明する恐れがありますので、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより、人体や時計回りを傷めることがあります。

注意
- ●+（プラス）、–（マイナス）を逆に入れないでください。
- ●新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池の混用はしないでください。
- ●指定された電池を使用してください。
- ●使い切った電池は速やかに取り出してください。
- ●長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- ●電池交換時は、すべて新しい電池とお取り替えください。
- ●電池交換時は、電池と時計の端子（接触部）の汚れを落としてから入れてください。

使用場所について

下記のような場所では使用しないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

禁止
- ●温度が+40℃(40 度）以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- ●温度が 0℃(0 度）以下になる所。（プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。）
- ●ほこりが多く発生する所。（空気中のちり等が機械部にたまり、時計が止まることがあります。）
- ●テレビなどの家電製品、OA 機器、オーディオの側など強い磁気が発生する所。（磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。）
- ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ●浴室など、湿気の多い所。
- ●温泉場など、ガスの発生する所。
- ●多くの油を使用する所。（霧状の油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。）
- ●プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接触れさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

- ●汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤や石鹸水を柔らかい布に少量つけて拭き取り、その後、乾拭きしてください。
- ●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類、みがき粉、洗剤等は、使用しないでください。
- ●時計を壁面に掛けた場合、ケース等の静電気により、時計および壁面が汚れる恐れがありますので、定期的に汚れを落としてください。

故障かなと思ったときには

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に下図を参考にお調べください。
なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

まずは電池をご確認ください

- ●電池の残量が少なくなってくると、秒針の進みが目に見えて遅くなったり、秒針が上まで登りにくくなったりなどの誤表示の原因となります。
- ●電池交換の際は電池を外した後、数分たってから新たな電池をセットしてください。（連続の電池交換は、誤動作及びムーブメント破損の原因となる場合がございます。）

ご使用期間が、まだ電池交換の必要が無い期間の場合は、以下をご確認ください。

症状	考えられる原因	処置
時計が数秒程度の違いで動いている		そのままでも電波受信後に自動修正されます。
時計が数分程度の違いで動いている	電波受信に失敗している可能性が考えられます。	REC ボタンを長押しして（秒針が早回りしたら離してください）窓際などの電波受信環境の良さそうな場所に移動させて、電波受信をお待ちください。
時計が全く異なる時間で動いている	時刻電波以外に反応して、誤作動（誤受信）を生じた可能性が考えられます。	
待機時刻（4、8、12 時）で時計が止まっている。 ※スイープ秒針タイプは 12 時のみ		
待機時間（同上）以外の時刻で時計が止まっている （及び上記をお試し頂いても症状が改善されなかった場合）		恐れ入りますが製造元までご連絡ください。